

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実	施策の目的	市民が相互に支え合う福祉を進める	施策	地域福祉
-------	-------------	-------	------------------	----	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
地域福祉推進体制の整備	民生委員・児童委員活動の推進	社会福祉課
地域福祉活動の充実	在宅福祉サービス「せいむ」～社協委託業務～	社会福祉課
ユニバーサルデザインのまちづくり	市役所庁舎におけるユニバーサルデザインの導入	資産活用課
防災体制の整備	避難行動要援護者個別計画策定の推進	防災危機管理課

目標

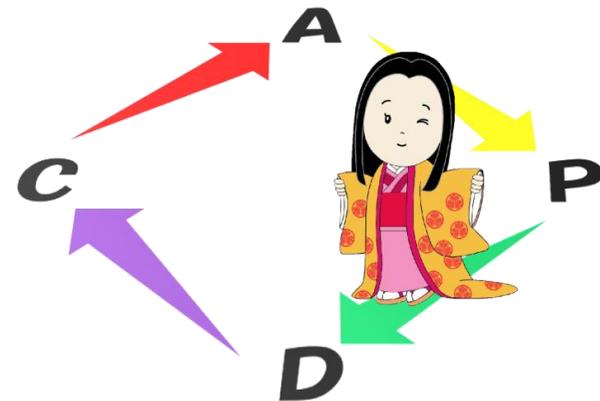
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
民生委員や福祉ボランティア活動に対する市民満足度	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	25.0%	30.0%
福祉ボランティア団体数	社会福祉協議会に登録しているボランティア団体数	ボランティア情報や活動の場の充実などにより増加を目指す。	60団体	70団体

令和2年度 of 取組状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

地域福祉活動は適正に行われていると考える。民生委員や児童委員の取り組みには敬意を表す。しかしながら、地道な活動であり、地域への貢献が見えにくい現状がある。在宅福祉サービスや避難行動要援護者個別計画策定はさらなる推進をお願いしたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	民生委員・児童委員活動の推進			
担当	社会福祉課			
予算科目	一般会計			
	3款	1項	3目	1事業
事業の目的	高齢者・児童対策等福祉諸問題において、行政機関とのパイプ役を担っている民生委員・児童委員に対し報償費(実費弁償)の支給を行い活動の推進に努める。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	市民が相互に支え合う福祉を進める
施策	地域福祉
施策の方向	地域福祉推進体制の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	6,042千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標	9,000 日	
実施内容と改善点		
民生委員・児童委員数103名 いまだ収束が見通せないコロナウイルス感染症拡大防止に配慮しつつ、電話等を中心とした見守り相談活動を行う。さらに、状況に応じ訪問活動を再開する。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	民生委員・児童委員数103名 年間活動日数8,060日 コロナウイルス感染症による外出自粛の影響もあり、前年度に比べ活動日数は大幅に減少した。
分析	コロナウイルス感染症により従来の訪問活動が困難な状況で、電話連絡を増やすなどやり方を工夫して活動を行った。今後も感染拡大防止に配慮した活動が求められる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

令和2年度	決算額	5,767千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績	8,060 日	
当初の成果目標	- 日	
実施内容と改善点		
民生委員・児童委員は、地域住民の福祉向上のため、地域のお年寄りや心配な世帯等へ訪問・電話するなど見守り相談活動を行っている。ボランティアなので給与は支払われないが、活動に係る電話代や交通費等が実費弁償として支払われる。		



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標	日	
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
日	日	

令和元年度	決算額	5,838千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績	10,254 日	
当初の成果目標	- 日	

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	在宅福祉サービス「せいむ」～社協委託業務～			
担当	社会福祉課			
予算科目	一般会計			
	3款	1項	1目	1事業
事業の目的	高齢者や障がい者、育児中の方を対象に、家事・子育てに困っている方(利用会員)とお手伝いできる方(協力会員)を結び、会員制の助けあい活動。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	市民が相互に支え合う福祉を進める
施策	地域福祉
施策の方向	地域福祉活動の充実

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	12,459千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		848 回
実施内容と改善点		
市内在住の高齢者や障がい者、育児中の方を対象に、家事援助や子育てのサポートと等の支援を行うことで、住み慣れた地域で生活を続けられるようにする。		

令和2年度	決算額	12,540千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		848 回
当初の成果目標		— 回
実施内容と改善点		
市内在住の高齢者や障がい者、育児中の方を対象に家事援助や子育てのサポート等の支援を行った。常時、会員からの相談を受け付け、必要に応じて適切なサービスを紹介した。また、広報紙に掲載し、事業の紹介と会員募集を行った。		

令和元年度	決算額	12,056千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1,146 回
当初の成果目標		— 回

【Check】令和2年度実績の評価と分析

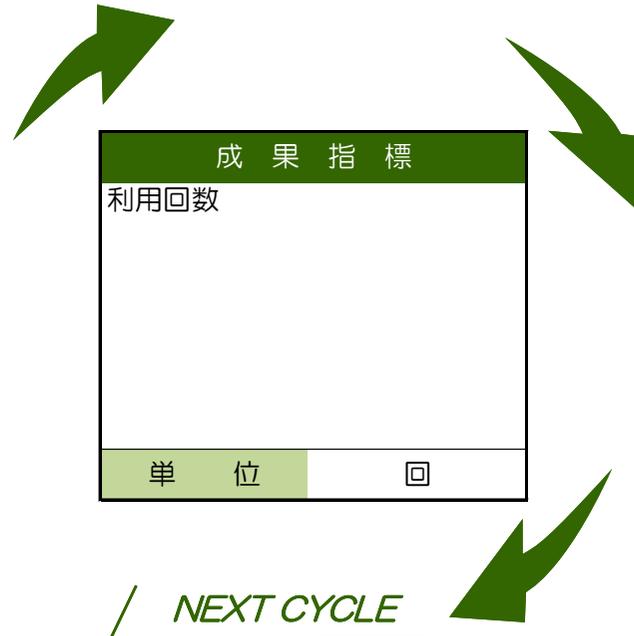
評価	会員からは好評であり必要性は高い。コロナ禍の影響で、活動を休止する会員がいたため活動数が減少。また、利用会員と協力会員の活動内容や時間が合わず、活動に結びつかない相談があった。
分析	利用会員宅で家事援助を行うため、協力会員がコロナ感染を恐れ活動が減少した。感染予防を徹底し、協力会員の加入促進を行い会員を増やすことで、様々なニーズに対応できるようにするようになることを考える。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		回
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
回		回



事業の説明

事業名	市役所庁舎におけるユニバーサルデザインの導入			
担当	資産活用課			
予算科目	一般会計			
	2款	1項	5目	1事業
事業の目的	来庁者、そこで働く職員が、不自由なく利用できる庁舎であるために適正に維持管理する。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	市民が相互に支え合う福祉を進める
施策	地域福祉
施策の方向	ユニバーサルデザインのまちづくり

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	6,380千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		100.0 %
実施内容と改善点		
車いす利用者に対応すべく、第3分庁舎の入口をドアタイプから引戸に改修し、『多目的トイレ』の設置工事を実施する。		

令和2年度	決算額	1,012千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		- %
実施内容と改善点		
本庁舎を改築した際に外構工事を行い、庁舎入口付近に県条例（ひとにやさしいまちづくり条例）の基準に合わせた障がい者駐車場を整備したが、利用者の利便性を向上するため、拡張工事を実施した。		

令和元年度	決算額	-
	うち 特定財源	-
成果実績		100.0 %
当初の成果目標		- %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	適正な維持管理に加え、利便性向上のために障がい者駐車場の拡張工事を実施した。基準以上のものを設置することで利用者の利便性の向上に努めた。
分析	普段使用していると不便さに気づかず、利便性の向上に繋がらない。来庁者や職員の声に耳を傾け、必要な改修を施工すればより良いものになると思われる。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	避難行動要援護者個別計画策定の推進			
担当	防災危機管理課			
予算科目	一般会計			
	9款	1項	5目	1事業
事業の目的	災害時に自力避難が困難な避難行動要支援者に対する個別の避難計画を作成することで、逃げ遅れゼロを目指す。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	保健・医療・福祉の充実
施策の目標	市民が相互に支え合う福祉を進める
施策	地域福祉
施策の方向	防災体制の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

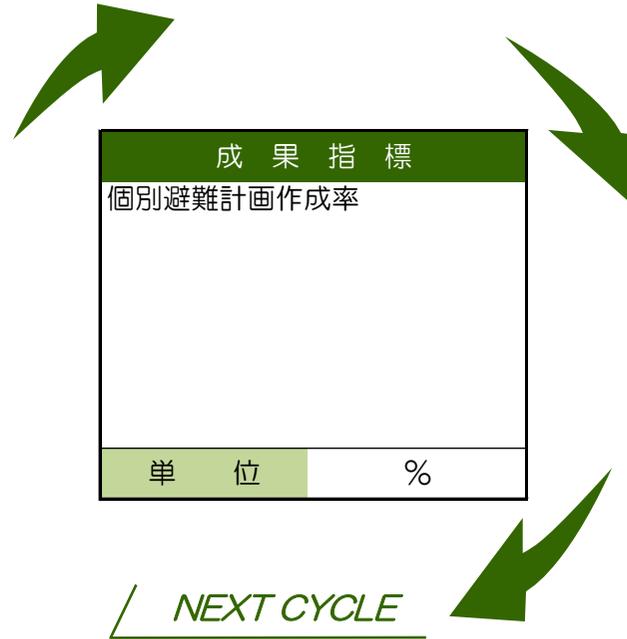
令和3年度	予算額	0千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		60.0 %
実施内容と改善点		
内閣府の個別避難計画作成モデル事業を活用し、筑波大学及びつくばみらい市と連携して、マイ・タイムラインの作成ノウハウを活用した避難行動要支援者名簿の対象者の絞りこみや個別避難計画作成手順書の作成を行う。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	計画作成希望者の約6割の計画書を作成したが、必要項目が空欄になっている回答者への修正などは行えていない状況である。
分析	未策定の希望者に対する作成支援よりも、まず計画の実効性を確保するために、避難に必要な準備品や必要な支援、避難先の選定や避難開始の時期など、計画作成手法を確立する必要がある。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
----	--



令和2年度	決算額	9千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		58.4 %
当初の成果目標		50.0 %
実施内容と改善点		
令和元年度に福祉部局と連携して作成した避難行動要支援者マニュアルをもとに、地域ケア会議や民生委員定例会において個別避難計画作成支援についての説明会及び勉強会を実施し、希望者の計画書作成に着手した。		

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
%	%	

NEXT CYCLE